

1 全般に関すること 94件

※ 下線部は、改革策に反映させたもの

意見の要旨	件数	意見に対する本市の考え方
<p>〈肯定的意見〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「ごみ収集処理業務の更なる改革策」に賛同する。(40) ・「民間にできることは民間に」という方向性に賛同する。(9) ・全て民間に委ねるのではなく、行政が責任を持つところは持つという考え方は良いと思う。(4) ・企業、個人ともに、なお一層のごみの減量に取り組むことが大事である。(1) 	54	改革策の趣旨に御賛同いただいた意見や要望を踏まえ、改革策を策定し、着実に取組を進めてまいります。
<p>〈否定的意見〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・現状のままで良い。(33) ・京都市は他都市に負けないぐらい環境事業が進んでおり、更なる改革は必要ないと思う。(1) ・改革をしなくても質の高いサービスを目指してくれればそれでいい。(1) ・改革するよりも今の仕事を継続できる体制づくりを行ってほしい。(1) ・更なる改革が必ず成功するか分からないが、現状のことも一生懸命やるべきである。(1) 	37	これまでごみ収集処理業務の改善、改革に取り組むことで、市民の皆様の評価は着実に向上するとともに、財政的にも非常に大きな効果を得ており、これを終着点とするのではなく、引き続き、本市の「民間にできることは民間に」との基本方針の下、徹底した行財政改革に間断なく取り組みながら、更なる市民サービスの向上と経費節減を図ってまいります。
<p>〈その他〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・もっと大胆に見直しを進めてほしい。(1) ・何が良くて何が悪いかをきっちりと修正して次に活かしてほしい。(1) 	2	改革策を策定し、着実に取組を進めるとともに、社会経済情勢の変化に柔軟に対応し、進化させていくため、今後、必要な時期に改革策の見直しや取組の更なる深堀りを検討してまいります。
<ul style="list-style-type: none"> ・10年後のライフスタイルやそれを目指していけるようなごみ収集処理業務を考え、それを主眼においた改革策とすべきである。(1) 	1	改革策は、これまでの取組を発展させ、さらに効率的で、社会のニーズに的確に対応することのできる、持続可能で柔軟かつ機動的な業務執行体制の確立を目指し、取りまとめたものであり、他の計画や施策とも連携を図りながら、改革策に掲げる取組を進めてまいります。

2 これまでの取組に関すること 42件

意見の要旨	件数	意見に対する本市の考え方
<ul style="list-style-type: none"> ・以前に比べ、仕事ぶりや対応が向上している。(39) ・ごみ減量やエコまちステーションの設置など、これまでの取組は評価できる。(3) 	42	改革策の策定後、着実に取組を進め、引き続き、公衆衛生の維持はもとより、市民の皆様との協働によるごみの減量やリサイクルの推進など、更なる市民サービスの向上に努めてまいります。

3 民間委託化に関すること 358件

意見の要旨	件数	意見に対する本市の考え方
委託化に関すること 311件		
<p>〈全般・ごみ収集業務（肯定的意見）〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・全て委託が良いと思う。(7) ・ごみ収集業務は民間でもできるため、全て委託が良い。(8) ・委託化を進めることに賛成である。(51) ・ごみ収集業務の更なる委託化を進めるべきである。(28) ・委託事業者の管理監督等、市としての責任体制を確保しつつ、委託を進めてほしい。(25) ・委託化を推進することで、サービスの維持向上を図ることができると思う。(9) ・委託を進めても同様の業務ができるのであれば、委託化を進めてほしい。(3) 	131	<p>災害発生時等不測の事態における対応や委託業務の管理監督、収集運搬計画等の企画立案といった公衆衛生の維持の根幹に関わる業務については、本市が責任を持ってサービスを提供できる体制を確保する必要があると考えております。</p> <p>今後、こうした体制を確保しつつ、業務の品質や市民満足度の更なる向上を図るための客観的、多角的な評価の仕組みの充実や、委託事業者の業務遂行状況の確認の強化等の管理指導機能を高める取組を着実に進め、より効果的かつ効率的な体制を構築してまいります。</p>
<p>〈全般・ごみ収集業務（否定的意見）〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・委託化を進めることに反対である。(30) ・ごみ収集業務の更なる委託化に反対である。(4) ・民間委託することでサービスが低下することが心配である。(14) ・きっちりとごみを収集してもらいたいので、市職員に収集してほしい。(49) ・ごみの収集は自治体として責任を持ってやるべき業務であり、民間事業者は不安であり、京都市が責任を持ってやってほしい。(10) ・これ以上は民間委託を進めず、地域との連携を進めていくべきである。(3) ・ごみの分別をはじめ、困った時の相談を行えるよう、京都市が責任を持ってやるべきである。(2) 	112	<p>御意見を踏まえ、本文5ページの「<u>(1)公衆衛生の維持の根幹に関わる業務の執行体制の確保と民間事業者、市民との協働による最も効果的かつ効率的な体制の構築</u>」の箇所に、「<u>効率化を進めていく中であっても、業務水準を維持向上させ、市民の安心、安全を確保していくために、</u>」の文言を記載しました。</p>
<p>〈全般・ごみ収集業務（その他）〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・決まった時間にごみを取ってくれるのであれば、委託事業者でも市でもどちらでも良い。(2) 	2	
<p>〈クリーンセンター業務（肯定的意見）〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・クリーンセンターの委託化を進めるべきである。(14) ・クリーンセンターは京都市が管理責任を果たすことや信頼できる業者に委託するのであれば、委託しても良い。(21) 	35	<p>クリーンセンターの焼却プラント設備の保守管理業務については、民間委託により実施しているところではありますが、焼却プラントを安定的に稼働させ、市民の安心、安全を確保していくため、運転監視業務の委託に当たっても、適切な業者選定を行ったうえで、本市が責任を持って管理運営をしてまいります。</p>
<p>〈クリーンセンター業務（否定的意見）〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・クリーンセンターの運営は民間に任せず、安心・安全の観点から京都市が責任を持ってやってほしい。(16) 	16	<p>御意見を踏まえ、本文7ページの「<u>②クリーンセンター業務</u>」の箇所に、「<u>適切に遂行できる事業者に</u>」の文言を記載しました。</p>
<p>〈クリーンセンター業務（その他）〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・クリーンセンターの委託についてはよく分からない。(1) 	1	

<p>〈その他〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・委託化は急ぐのではなく、計画的に進めてほしい。(5) ・もう少し早く委託を進めることはできないのか。(4) ・民営化もプラス面、マイナス面両面あり、すぐに決めずにもっと検討してほしい。(4) 	13	<p>ごみ収集業務は公衆衛生の維持の根幹に関わる業務であり、市民生活に支障を来すことがないように、委託化の推進と併せて、委託事業者の管理監督機能の強化や災害時における民間事業者との協働体制の確立等も併せて行う必要があることから、計画的に委託化を進めてまいります。</p>
<ul style="list-style-type: none"> ・クリーンセンターは委託を進める前にまずは人員削減を行うべきではないか。(1) 	1	<p>クリーンセンターに限らず、ごみ収集処理業務全般において、徹底した行財政改革に取り組んで行く必要があると考えており、引き続き、運営体制の効率化を進めてまいります。</p>
<p>災害時の体制に関すること 30件</p>		
<ul style="list-style-type: none"> ・委託化は自然災害等に市が対応できる体制を整えることを考慮しながら進めてほしい。(15) ・災害時に委託事業者が適切に対応できるか不明であり、市職員で対応してほしいので、委託化は慎重に考えてほしい。(11) ・何年に一度という災害を理由に直営を残すというのは経費面で問題ではないか。(4) 	30	<p>災害発生時等不測の事態における対応など、公衆衛生の維持の根幹に関わる業務については、本市が責任を持って、サービスを提供できる執行体制を確保する必要があると考えております。</p> <p>さらに、民間事業者との協働体制の確立など、事前の危機管理対策を進め、市民の安心、安全を確保するとともに、官民が協働して取り組むことのできる体制を構築してまいります。</p>
<p>民間業者の管理監督に関すること 17件</p>		
<ul style="list-style-type: none"> ・委託化を進める中においても民間協働の体制を整えとともに、業務内容をチェックするなど、業者に対する指導、教育をしっかりと行ってほしい。(17) 	17	<p>改革策では、委託業務の管理監督を公衆衛生の維持の根幹に関わる業務と位置付け、委託事業者において業務が確実に履行されるよう、本市において適切な指導を行うこととしております。</p> <p>委託化を進めるに当たっては、業務の品質や市民満足度の更なる向上を図るため、客観的、多角的な評価の仕組みの充実や、委託事業者の業務遂行状況の確認の強化など、管理指導機能を高めてまいります。</p> <p><u>御意見を踏まえ、本文8ページの「①市民による業務の評価と管理指導の仕組み」の箇所</u>に、「安全運転、安全作業の励行はもとより、常に質の高いサービス提供を確保する観点で」の文言を記載しました。</p>

4 燃やすごみの完全午前収集に関すること 96件

意見の要旨	件数	意見に対する本市の考え方
<p>〈肯定的意見〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・燃やすごみは午前中に収集してほしい。(47) (衛生面、ごみの散乱防止、観光都市、交通渋滞解消) ・ごみを早く収集して、職員は短時間勤務にすればいいのではないか。(2) ・委託化を進めれば、午前中収集も早く実現するのではないか。(1) 	50	<p>燃やすごみの収集については、これまで、収集体制の縮小を図る中で、限られた人員・機材を効率的に活用し、できる限り早い時間帯での収集に努め、現在、燃やすごみの約8割の収集を午前中に終えております。</p> <p>生活環境の保全や公衆衛生の維持を図る観点、さらには国際的な観光都市である本市の都市特性を踏まえ、燃やすごみの完全午前収集を実現してまいります。</p>
<p>〈否定的意見〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・早い時間帯の収集よりもきっちりとゴミを拾い、散乱しているごみを片付けるようにしてほしい。(16) ・作業時間が短くなり、作業が雑になるのではないか。(8) 	24	<p>そのためには、更なるごみ減量が不可欠であり、雑がみの徹底した分別など、全力を挙げてごみ減量施策に取り組むと同時に、より効率的な収集作業計画を検討し、収集コストを増加させることなく、また、作業の質が低下することのないよう、努めてまいります。</p>
<p>〈その他〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・午前も午後も収集をしてほしい。(13) ・できるだけ早い時間に収集してほしいが、きっちりとその日に片付けてもらっており、今のままでも良い。(8) 	21	<p>生活環境の保全や公衆衛生の維持を図る観点、さらには国際的な観光都市である本市の都市特性を踏まえ、燃やすごみの完全午前収集を実現してまいります。</p> <p>完全午前収集を実現した場合においても、作業の質が低下することのないよう、努めてまいります。</p>
<ul style="list-style-type: none"> ・職員は午後から何をするのか分からない。(1) 	1	<p>燃やすごみの午前収集については、収集作業の改善を進めることで実現していくこととし、午後は、燃やすごみ以外(資源ごみなど)の収集業務に加えて、地域との協働によるごみ減量の取組の充実等、真に必要とされるサービスのより効果的かつ効率的な提供に努めてまいります。</p>

5 収集サービスの充実に関すること 42件

意見の要旨	件数	意見に対する本市の考え方
<ul style="list-style-type: none"> 市民へのごみ減量の啓発や相談をはじめ、様々なごみ収集サービスの充実を進めてほしい。(ごみの分別や減量啓発活動、資源物回収の充実、環境教育の実施等) (26) 	26	<p>全区役所・支所内に設置したエコまちステーションにおいて、まち美化業務員が環境共生推進員として、ごみの減量に係る相談、啓発、地域との協働による取組を実施しており、これらの取組を一層充実してまいります。</p> <p>御意見を踏まえ、本文7ページの「<u>②まごころ収集等のごみ収集サービスの充実・拡大</u>」の箇所に、「<u>市民へのごみ減量の啓発や相談を更に充実・推進するとともに、</u>」の文言を記載しました。</p> <p>今後、超高齢化などの社会経済情勢の変化に伴う新たなニーズの生起などが予想され、これらに対応していけるよう、更に柔軟な業務執行体制と職員の育成を通じ、真に必要なとされるサービスのより効果的かつ効率的な提供に努めてまいります。</p> <p>頂いた御意見を参考に、市職員の「現場力」や市民の皆様の「市民力」「地域力」を最大限活用できる体制について、引き続き、検討を行ってまいります。</p>
<ul style="list-style-type: none"> 現在も収集以外に分別等の啓発活動を行っており、現状の取組を継続してほしい。(1) 	1	
<ul style="list-style-type: none"> コストを安くする事だけを考えずに、もっと質の高いサービスをこれからは考えていくべきだと思う。(1) 	1	
<ul style="list-style-type: none"> 雑がみ分別は良い取組だと思う。(1) 	1	
<ul style="list-style-type: none"> まごころ収集の拡大など、高齢者サービスを充実してほしい。(11) 	11	
<ul style="list-style-type: none"> エコまちステーションは区役所の地域力推進室に統合し、地域住民に親しまれるようにする。(1) 	1	
<ul style="list-style-type: none"> まち美化事務所を区役所・出張所に設置してはどうか。(1) 	1	

6 任用制度に関すること 28件

意見の要旨	件数	意見に対する本市の考え方
<ul style="list-style-type: none"> ごみ減量やリサイクルに市民と一緒に取り組むことや業者を統括するために職員の育成を進めてほしい。(12) 	12	<p>発生したごみの収集処理に留まらず、発生抑制などのごみの減量に関する啓発等の取組にも対応できる能力・知識を有した職員の厳格な能力実証に基づく任用制度について検討してまいります。</p> <p>また、ごみ収集処理業務をより効果的かつ効率的に遂行できるよう、的確な業務の企画立案を行うとともに、市民や民間事業者と連携を図ることができる職員の育成を目指し、人材育成計画を策定、推進してまいります。</p> <p>御意見を踏まえ、本文8ページの「<u>②人材育成計画の策定・推進</u>」の箇所に、「<u>市民に信頼され、地域に貢献できる</u>」の文言を記載しました。</p> <p>改革策に記載のとおり、ごみ収集処理業務の高度化に対応できるよう、職員の人材育成や任用制度の再構築を行い、新たな任用制度の下において、必要最小限の職員の採用について、検討してまいります。</p>
<ul style="list-style-type: none"> 職員の対応も昔に比べて良くなったが、引き続き、市民サービスの向上に向けて、人材育成を行ってほしい。(8) 	8	
<ul style="list-style-type: none"> 委託事業者の管理をはじめ、職員は収集以外の業務もやればいい。(4) 	4	
<ul style="list-style-type: none"> 委託を進めた場合、職員はどうなるのか。(2) 	2	
<ul style="list-style-type: none"> ごみ収集業務の高度化への対応を現業に求めるのは行き過ぎではないか。(1) 	1	
<ul style="list-style-type: none"> 組織の活性化のために採用による新陳代謝は必要である。(1) 	1	

7 その他 58件

意見の要旨	件数	意見に対する本市の考え方
<ul style="list-style-type: none"> ごみ収集や広報などについて、改善を進めてほしい。(ホームページの改善, 収集時間, 急発進, 丁寧な作業等) (12) 	12	<p>頂いた御意見や御要望を踏まえ、改善を進めてまいります。</p>
<ul style="list-style-type: none"> パブリックコメントの期限が短く、もっと市民の声を聞くべきである。(8) 	8	<p>今回の市民意見募集については、本市が市民意見募集期間の標準としている1箇月間としております。</p>
<ul style="list-style-type: none"> 現場の職員の意識が低下しないか心配で、市職員が一体となって取り組むべきである。(7) 	7	<p>改革策に掲げる取組については、本市職員が一体となって取り組んでまいります。</p>
<ul style="list-style-type: none"> ごみ袋や大型ごみ収集経費の値下げに取り組んでほしい。(3) 	3	<p>有料指定袋の価格については、価格を下げた場合の減量効果の減少が懸念されること、他市町村と京都市との価格の整合性が取れていること、今後、更なるごみの減量が必要となっていることなどの理由から、価格を維持すべきものと考えております。大型ごみにつきましても、ごみ減量の方策として、同様の考え方としております。</p>
<ul style="list-style-type: none"> 「京都市ごみ収集業務の在り方検討会議」には、市民は参加しているのか。市民委員がないのであれば、市民などと記載すべきではない。(1) 	1	<p>「京都市ごみ収集業務の在り方検討会議」については、ごみ収集業務改善実施計画等に基づくこれまでの取組の総括と、徹底した行財政改革の視点から業務の検証やごみ減量・リサイクルの推進といった行政の役割を果たすための在り方について議論いただくため、計画策定時の検討委員会やごみ収集業務評価委員会の委員、経営改革やごみ処理などに関する学識経験者、公認会計士、地域でごみ減量などに取り組む地域委員の皆様により御議論いただきました。</p>
<ul style="list-style-type: none"> 「京都市ごみ収集業務の在り方検討会議」に、公認会計士が入っているが、どういった理由で選出されているのか。(1) 	1	
<ul style="list-style-type: none"> 廃棄物減量等推進審議会があるにもかかわらず、法的な根拠もない任意での「京都市ごみ収集業務の在り方検討会議」を設置している理由は何なのか。(1) 	1	
<ul style="list-style-type: none"> 埋立地の整備は諮問しているのに、収集業務は諮問しないのか。(1) 	1	
<ul style="list-style-type: none"> 廃棄物減量等推進審議会にこの内容を報告して、審議してもらいたいと思う。(1) 	1	
<ul style="list-style-type: none"> 委員会の意見は市民の意見を代表しているとは思わない。(1) 	1	
<ul style="list-style-type: none"> ごみ半減目標とごみ収集業務の関連は議論されたのか。(1) 	1	

<ul style="list-style-type: none"> ・プラスチックごみは分別しているにもかかわらず焼却していると聞いており、先進事例を参考に何とか手を打つべきである。(1) 	1	<p>分別収集されたプラスチック製容器包装は、異物やひどく汚れたものを取り除いた後、圧縮梱包処理が行われ、リサイクル協会を通じて再商品化事業者へ引き渡され、リサイクルに回されております。</p>
<ul style="list-style-type: none"> ・技能労務職員数の推移があるが、民間では定年退職のことを人員削減とは言わない。(1) 	1	<p>職員数の適正化については、本市全体で、これまでから取組を進めてきており、業務執行体制の見直しなどにより、退職不補充による減員などで削減を行ってきております。</p>
<ul style="list-style-type: none"> ・人員数には作業長を含めて市民に示すべきである。(1) 	1	<p>人員数については、収集体制の基本となるごみの収集運搬などの業務に直接従事する職員数としております。</p>
<ul style="list-style-type: none"> ・ごみ収集経費に人件費は入っているのか。(1) 	1	<p>ごみ収集経費には、人件費を含んでおり、ごみ収集運搬に係る直接経費の推移では、平成18年度の約94億円から、平成25年度の約54億円へと、年間約40億円の経費節減を実現しています。</p>
<ul style="list-style-type: none"> ・「庸車」が分からないので、説明を入れてほしい。(1) 	1	<p><u>御意見を踏まえ、10ページの「3 直営・庸車・委託及び収集班数の推移」の箇所に、庸車の説明を記載しました。</u></p>
<ul style="list-style-type: none"> ・「ごみ収集処理業務の更なる改革策」となっているが、「京都市ごみ収集業務改善実施計画」の見直しではないのか。(1) 	1	<p>改革策はこれまでの計画を見直すものではありませんが、改善、改革の取組を更に発展させ、更に効率的で、社会のニーズに的確に対応することのできる、持続可能で柔軟かつ機動的な業務執行体制の確立を目指して、取りまとめたものです。</p>
<ul style="list-style-type: none"> ・「京都市ごみ収集業務改善実施計画」は更新しないのか。(1) 	1	
<ul style="list-style-type: none"> ・「ごみ収集処理業務の更なる改革策」の位置付けが不明確ではないか。(1) 	1	
<ul style="list-style-type: none"> ・環境政策局だけでなく、他部局の合理化も進めるべきである。(3) ・行政が実施する施策をしっかりと市民に宣伝し、ともに歩むスタイルが大切である。(1) ・エコまちステーションは当初の構想どおりに機能しているのか。(1) ・ごみの分別は無駄である。(1) ・予算を助成・補助している各種環境団体、ごみ減量推進会議、エコ学区などは予算どおりの成果を挙げているか確認するべきである。(1) ・クリーンセンターの周辺地域に配慮した取組を行ってほしい。(1) ・経費節減を求めすぎて、民間事業者の労働条件悪化につながらないか。(1) ・廃油回収はありがたいが、実際はエコになっていないので、廃油を燃料に使うのは止めたほうが良いと思う。(1) ・ごみ処理場が少ないのは、却って環境に悪いと思う。(1) 	1 3	<p>多くの方々から貴重な御意見を頂きました。これらの御意見につきましては、今後の施策の検討、取組に当たっての参考とさせていただきます。</p>

<ul style="list-style-type: none">・高速道路を使い処理場まで運んでいるのも経費削減に逆行していると思う。(1)・その他(1)		
--	--	--